

ジェイアールバス東北本部

第5号

2022年9月12日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

申1号「JR東労組バス東北本部第35回定期委員会の 発言に関する申し入れ」について団体交渉を行う！①

バス東北本部は、9月9日に申1号「JR東労組バス東北本部第35回定期委員会の発言に関する申し入れ」について団体交渉を行いました。主な議論経過は以下の通りです。

1. 人材流出を止めるための効果的な対策を早急に講じること

- (組合) 依然として退職者が多く、各箇所では要員不足が深刻な状況である。採用を強化しているが、それ以上に退職者が出ている。人材流出を防ぐための対策を早急に講じるべきである。
- (会社) コロナ禍の中、成長が続けられる会社をつくり上げるために、列車代行輸送を精力的に行っており、黒字化に向けて取り組んでいる。これまでの交渉でも人材流出を防ぐために待遇改善の必要性について議論を行ってきたが、出来る範囲で待遇改善に取り組んできた。早急な対策は難しいが、今後も労働条件向上の実現に向けて努力する。

2. 仙台支店のバス車両整備部門での業務量が膨大であり、さらに車両故障が多発していることから業務量の負担を軽減する対策を講じた上で車両故障件数の減少に向け対策を講じること

- (組合) 昨年度から今年度にかけて定期的に車両故障が発生している。その多くは仙台支店である。ここ1週間でも立て続けに2件発生しており、異常事態である。会社として問題意識を持っているのか明らかにすること。
- (会社) 今年度に入り11件の車両故障が発生し、10件が仙台支店であり問題意識は持っている。昨年度より1ヶ月点検を廃止し業務量の削減を図っている。また、先輩社員による若手社員へのマンツーマンでの技術指導及び勉強会を開催し、車両係の技術向上にも取り組んでいる。本社からも仙台支店に出向き作業指示や工程、作業内容などを注視しながら精査している。
- (組合) 盛岡支店において、乗務員が運行中に異音が出ていることに気づき何度も点呼に報告していたにもかかわらず、約1週間その状態で運行していた。最終的に乗務員が異音のする箇所を確認し、部品の一部が緩み脱落しそうになっていたのを発見して修繕するという事象があった。車両の不具合について報告があった際は、遅滞なく車両整備担当者に伝達し、運行の可否や修繕などの対応をとること。
- (会社) 乗務員から点呼に車両不具合の報告があった場合は、点呼が確認した上で運行の可否判断や車両整備担当者への伝達など適切に対応するべきである。改善指導していく。

3. 現業機関の統廃合や要員不足で乗務員の負担が大きくなっていることから、健康・安全を確保するため、これまで以上に各現場の意見を最大限取り入れたダイヤを作成すること。

- (組合) これまで何度も議論しているが、要員不足で休日出勤も増えており、乗務員の負担が更に大きくなっている現状がある。今すぐ要員不足の解消が難しい中で、如何に疲労の蓄積を軽減していくのが重要である。これまで以上に現場乗務員の意見を最大限取り入れたダイヤ作成をすること。
- (会社) 今後も要員体制及びお客さまの利用状況を鑑みて、現状に見合ったダイヤ作成を実施する。要員不足や新規採用者の訓練等もあり、今すぐは難しいがダイヤの見直しも検討している。また、ダイヤ作成には引き続き現場の意見も取り入れていく。